

産業能率大学 情報マネジメント学部

経営科学の基礎	履修年次	2	
	単位	2	
斎藤 文	配当期	前	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>高度な数式展開はなるべく避け、モデル化の方法と現実問題にどのように役立てるかを重視する。しかし、解を導き出すプロセスを身につけることも重要と考える。前提となる数学の知識は高校の数学 I レベルとする。</p> <p>この講義では、毎回数理演習を実施するので必ずルート付きの電卓を持参すること。毎回授業冒頭では manaba の小テストを使った授業外学習確認テストを実施し、授業外学習の理解度を確認する。各テーマに応じた 3 つの課題が課せられる。最後に解の導出方法を確認するための筆記試験を実施し、理解度を確認する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化の方法を習得し活用できる。 ・OR の基本技法を習得し活用できる ・実際の経営問題解決に OR がどのように役立つかを理解できる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、課題提出、定期試験を総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	経営科学とは	8	待ち行列(2)M/M/1 モデル
2	線形計画法(1)図式解法	9	在庫管理(1)定期発注方式
3	線形計画法(2)生産計画・栄養問題への適用	10	在庫管理(1)定量発注方式
4	PERT(1)PERT とは何か	11	総合演習(2)
5	PERT(2)所要時間の見積もり	12	デシジョンツリー(1)デシジョンツリーとは
6	総合演習(1)	13	デシジョンツリー(2)多段階意思決定
7	待ち行列(1)モデル化	14	まとめと振り返り